



広報 ほうじょう

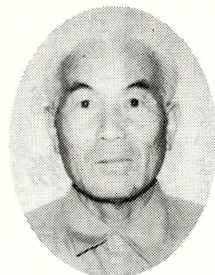
青少年健全育成
特集号

町子ども会育成連絡協議会 会長・担当職員の紹介

十年もの永きにわたって熱心にお世話いただいた奈木野克富会長は「後進に道をゆずる」として、また、三年間社会教育指導員として事務局を担当していた伊野久登氏は任期満了で、それぞれ退職されました。本当に御苦労さまでした。

替って新会長に廣渡義則担当に永岡清正の両氏が就任され、新しい態勢がスタートしました。

学校週五日制の導入を機に、地域での子どもたちの生活が大きく変わろうとしている現在、町子連や単位子ども会には大変重要な役割が期待されています。両氏とも豊富な人生体験を持たれている上に、ヤル気も満々です。両氏を中心に、町子連の理事さん方が一致団結して、町内の子ども会活動を一段と発展させ



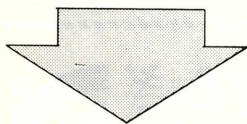
永岡清正氏



廣渡義則氏

オアシス運動

いつでもどこでもできるだれにでもできる



オハヨウゴザイマス
アリガトウゴザイマス
シツレイシマシタ
スミマセンデシタ

親子給食会

に参加して

子供が小学校に行きはじめ、親子給食会がありました。そして、わたしが30数年前に使っていたのと同じアルマイトの食器を使っているのを知って、たいへんびっくりしました。

アルマイトの食器は皆さんも経験がおりと思えますが、器自体が熱くなるので、持ちにくく、そのため子供はどうしても「犬ぐい」になりやすく、また、割れないといって粗末に扱うようになりがちです。

食器を変えることによって正しい食事の作法ができるようになります。料理を盛り

付けたときの見栄えがよくなります。せっかく調理員さんが丹精こめておいしく作った料理でも、アルマイトの食器ではおいしく見えません。

磁器の食器だと器を持って熱くならないし、料理がおいしく見えます。食事というのはまず見るところから入り、次においしく感じて、満足します。

ただ、磁器の食器を使うのにも色々な問題はあると思います。たとえば、食器の破損を少なくするために学校の先生方の「食器を大切にする指導」が必要になります。ただ、子供はきれいなものは自然に大切にしている気持ちも持っていると思います。

学校給食に対しては、各方面から色々な要望も出ています。よいことはすぐに取り入れてほしいと思うのですが、それにと